

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成26年12月22日（月）～平成26年12月28日（日）〔平成26年第52週〕の感染症発生状況

第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は36.70人と前週（23.78人）から増加し、基準値（定点当たり30人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は12.70人と前週（15.24人）から減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。



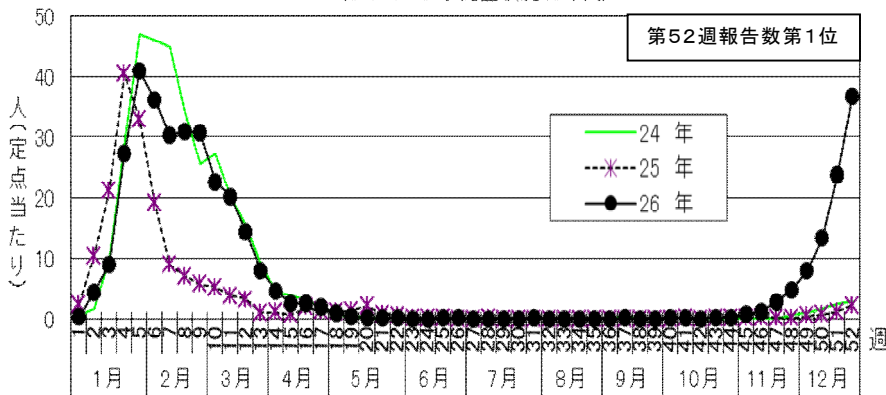
インフルエンザ流行発生警報発令！！

川崎市内において、平成26年第52週（平成26年12月22日～12月28日）のインフルエンザ患者報告数が定点当たり36.70人となり、基準値（定点当たり30人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

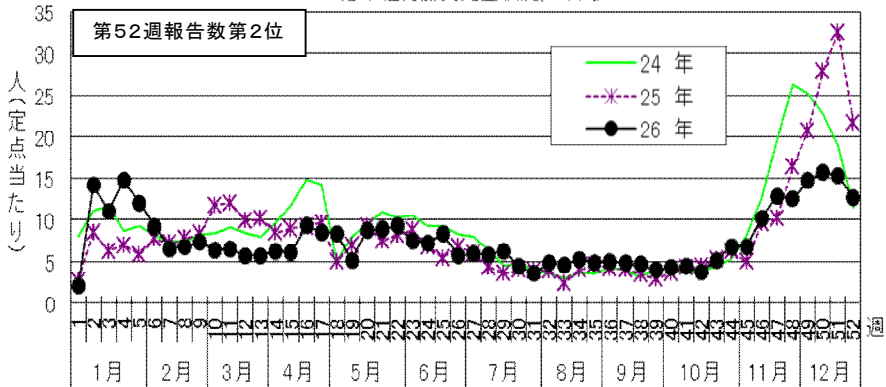
平成27年第1週（平成26年12月29日～平成27年1月4日）は、年末年始で多くの医療機関が休診のため、患者報告数としては一時的に減少する可能性はあるものの、保育園・学校・職場等では、始業に伴いさらに感染が広がることが予測されるため、十分注意が必要です。



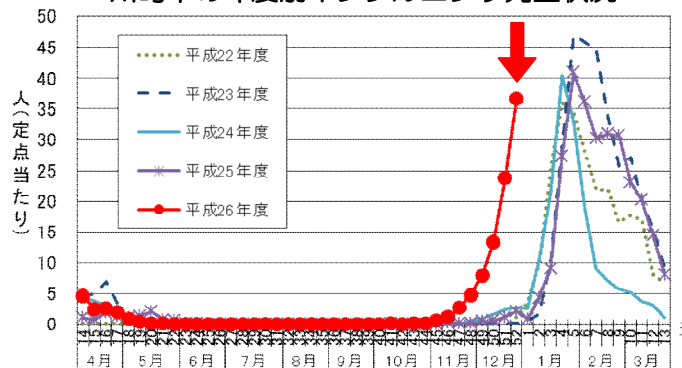
インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市の年度別インフルエンザ発生状況



～インフルエンザにかかったら～

自分のからだを守り、他の人にうつさないようにしましょう。

- ✓ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとりましょう。
- ✓ 無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。
- ✓ 咳・くしゃみなどの症状のある時は、マスクを着用しましょう。